

1

入学までにしておきたいこと

入学前の準備として、なるべくたくさんのかを体験させ、集団生活の基本となるような態度や能力、感性を身に付けておくようにすることが大切です。そうすることで、学校生活にスムーズに溶け込み、自分の力を存分に発揮することができます。

(1) 自分のことは自分でできるように

学校では、自分のことは自分でやらなければなりません。今から、「自分のことは自分でやる」意欲をもたせておきましょう。

① 身の回りのことは、自分でできる。

- ・一人で衣服の脱ぎ着ができる。服をたたむことができる。
- ・ボタンをかける。ひもが結べる。ひもがほどける。
- ・自分の持ち物の整理整頓、使ったものの片付けができる。
- ・トイレの扱いが一人でできる。
- ・名札の着脱ができる。(安全ピンの取り扱い)



② 身の回りを清潔にできる。

(洗顔、歯磨き、トイレや食事のあとの手洗い、ハンカチ、ティッシュの使用等)

③ 雑巾をきちんと絞ることができる。(袖をめくり、手がねじれないように)

④ はし、スプーンを正しくもって、すわって食事ができる。

(2) 時間を決め、リズムのある生活を

学校は、時間を意識して生活します。学校生活の充実を目指すためには、リズムのある生活が大切です。

① 早寝、早起きをし、睡眠を十分にとる。朝7時には起きる。

② 朝食を必ずとり、排便をすませる。

③ 20分間をめやすに、好き嫌いなく食事ができる。



(3) 集団生活が楽しくできるように

友達をつかって、楽しく学校生活が送れるようにしましょう。

① 大勢の友達と遊べる。

② 返事や挨拶がはっきりできる。

③ 困ったことや、必要なことを先生や周りの大人、友達にきちんと知らせることができる。

④ 周りの人にめいわくをかけないように、約束やきまりを守る。

(4) 学習への意欲と心構えを

学習は意欲が大切です。始める前にこんなことができるようにしておくと、ぐっと意欲が高まります。

- ① 人の話を最後まで聞く。
- ② ひらがなを読んだり、自分の名前を書いたりすることができる。
- ③ 鉛筆を正しく持って書ける。
- ④ 身の回りのものを10ぐらいまで数えられる。
- ⑤ 鉛筆やクレパスを使って、絵などを楽しくかける。
- ⑥ 身体を動かして遊べる。
- ⑦ 紙を二つに折ったり、はさみを使って切ったりできる。



(5) 親として心がけましょう

- ① ゆったりした気持ちで接するようにしましょう。叱るべきときはきちんと叱り、誉めてあげることも心がけましょう。自分で考えてきちんと行動できるように、誉めたり励ましたりしながら自信がもてるようにしていきましょう。
- ② 学校は社会性を身につけていくところでもあります。子供たちはお互いに関わり合いながら、成長していきます。子供たちの失敗を受け止めてあげる心のゆとりをもちましょう。
- ③ 授業参観、保護者会、学校行事、学校公開日、PTAの活動にはできるだけ参加してください。また、学校からのお便りには必ず目を通してください。
お家の人の関心が、子供への励ましとなり、子供のやる気を生み出していきます。
- ④ 環境、地域、文化などさまざまな問題にも関心をもち、子供に語りかけましょう。
- ⑤ 家庭と学校は、信頼し合い協力し合って教育にあたるのが大切です。
心配や疑問は遠慮なく担任に伝えてください。

(6) 学校生活に向けて

- ① 通学路の確認（児童連絡カード裏面参照）
色がついている道は集団下校で使います。普段の登下校のときに、新1年生保護者説明会で配布される通学路図にある自宅から色つきの道に、安全に出られるようにしてください。親子で2・3回、その後子供1人で行って帰ることができるか確認してください。あわせて、通学路にある「かけこみハウス」も確認しておく目安です。
- ② ランドセルの扱い方
学用品の出し入れ、鍵の開け閉め、背負い方の練習をお願いします。
- ③ 持ち物の記名
自分の持ち物が分かるように、すべての持ち物、衣類に記名を忘れずにお願いします。

2 学用品・持ち物について

(1) 学校で用意するもの (③~⑩は、後日引き落としとなります。)

- ①教科書(無償) ②名札(公費で購入) ③防災頭巾
④連絡帳・連絡袋 ⑤ノート(国語・算数) ⑥粘土
⑦道具箱 ⑧クレパス ⑨計算カード ⑩算数ブロック



(2) 家庭で用意していただくもの

*持ち物は、使いやすくて派手でないものを選びましょう。

*持ち物には、すべてひらがなで名前を書きましょう。(鉛筆1本から、衣類まで)

*学用品は、手製でも既製品でも差し支えありません。

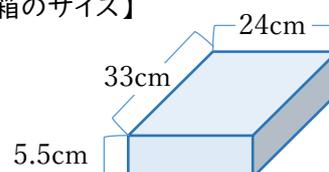
学用品

*学用品は学習に集中できるように、無地のものにしてください。

- ① 筆箱 (箱型で耐久性のあるもの、一目で中身が確認できるもの)
② 鉛筆 2B (5本)
③ 赤鉛筆 (1本)
④ 消しゴム (白のプラスチック字消し、よく消えるもの)
⑤ 名前ペン (油性)
⑥ 定規 (15cm程度、折りたたみ式不可)
⑦ 下敷き (無地のもの)
⑧ 液体のり (自分でふたの開け閉めができるもの、よくついてかわきやすいもの
※中蓋を外してきてください。)
⑨ 色鉛筆 (12色)
⑩ はさみ (先が丸いもの、あるいはケース付きのもの)
⑪ 自由帳 (無地のノート、B5またはA4のもの)
⑫ 粘土板 (およそ 25cm程度 × 35cm程度)
⑬ 手さげ袋 (2つ、持ち手の短いもの、横型のもの、道具箱が入るもの、
内側に記名してください。)

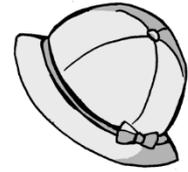


【道具箱のサイズ】



服装・持ち物等

- ① 校帽（登下校時、着用します。）
- ② 衣服（身動きが自由にでき、一人で脱ぎ着できるもの）
- ③ ハンカチ・ティッシュ（ポケットに入れます。）

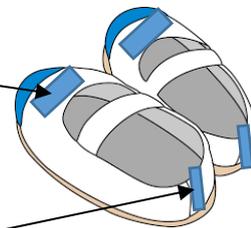
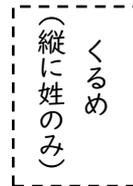
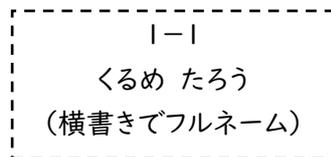


※ポケットに入れられない場合は、クリップのついたポシェットを洋服につけるなど工夫をしてください。首から下げるタイプのポシェットは使用しないでください。

- ④ 運動靴を履かせてください。（体育にも使用します。天候不良等の日を除く。）
- ⑤ 上ばきと、上ばき入れ

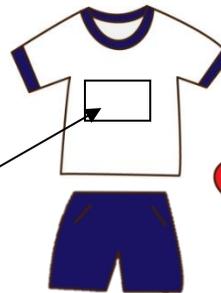
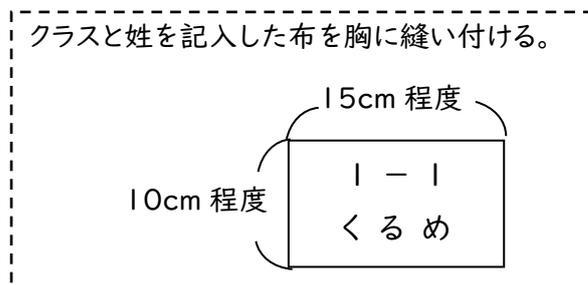
※上ばきを履いていても、靴箱に置くときにも、どちらも見えるように記名をしてください。

※上ばき入れは、内側に記名をしてください。



- ⑥ 体育着 と 体育着入れ

- ・上衣→白の半そで丸首
- ・下衣→紺のジャージ(短パンまたはクォーターパンツ)
- ・紅白帽(つばあり)
- ・体育着入れ(上記3点が入るもので、口がしばれて、持ち手がついているもの。
冬は防寒用トレーナーを入れることもある。)



- ⑦ かさ（目立たないところにフルネームで記名してください。）